

令和6年10月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和6年10月29日(火)13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館中会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
西堀 政幸	委員
宮内 慎也	委員
西川 紀栄	委員
佐藤 知佐子	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

平川 博巳	学校教育課長
佐々木 豊仁	生涯学習課長
宇仁 猛	学校教育課参事
澤地 彩	学校教育課 課長補佐兼こども育成係長
鳥澤 早斗子	生涯学習課 図書係長
齋藤 祐樹	学校教育課 学校教育係長

本会議録調製者は次のとおりである。

八代 佳南	学校教育課 主事
-------	----------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 西川 紀栄 委員を選出。

3 9月定例会会議録承認

事務局より報告、承認。

4 教育長報告事項

10月事業報告及び11月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

竹灯籠作り ドリル・ヤスリ使い完成

・稲梓小の5、6年生が総合的な学習の時間で竹灯籠作りに挑戦したということです。竹明かりイベントを主催する実行委員会メンバーが指導してくださいました。稲梓地区の文化展で展示するというのです。

部活動改革 国の方針「正直難しい」

・こちらの記事では本音を書いています。下田中学校の野球部と競走部が廃部になったことを取り上げて、受け皿不足の賀茂地区の現状を取り上げています。

新米 100 キロ 寄贈

・こちらは継続的に行われているもので、耕作放棄地や休耕田での米作りに取り組む「米（マイ）フレンド下田」さんが、収穫した新米約 100 キロを下田認定こども園、下田保育所、伊豆つくし学園、子ども食堂に贈られました。今年で9回目になり、2016年から続けていただいています。

10月2日から「車座座談会」

・「車座座談会」の話題です。10月2日から開始しており、まちづくりミーティングと合わせて、11月初めまで、残すところあと3回です。防災関係あるいは観光産業関係の話題が大体8割以上を占めている状況です。学校教育関係では、学校選択制にしてほしいというような意見がありましたが、教育委員会への大きな要望や強いクレームはございませんでした。

部活動地域移行 賀茂で先行

・こちらは、実は寝耳に水というような記事で、県の教育委員会の説明の中で話された言葉について、新聞社の方で取り違えがあったようです。この先行というのは間違いだったということで、県教員の方からお詫びの電話が賀茂地域1市5町にございました。

こちらの先行というのは、決して先に進めていることではなく、今回は賀茂地区で県の様子を少し提供させていただきますというようなことが、新聞社の方には先行という風に取り残ってしまったという、そんな話でございます。

教員用の教科書と指導書 市議会議決得ず契約

・教員用の教科書と指導書を市議会の議決を得ず契約をしたという島田市の記事です。他にも同じようなケースがあり、総額1億4,000万円分に上ります。下田市の条例では、通常、予定価格が2,000万円以上の契約、財産の取得には議会の議決が必要と規定されているわけですが、今回は2,000万円を超えておりました。全国的にこのようなケースが発覚したようです。指導書というのは、教科書と同じく、4年ごとに採択する方針になっています。

県新人陸上結果で活躍 5人東海へ

・このところ、稲取高校、松崎高校、下田高校の陸上関係で女子結果が出ていて、新聞に掲載されることが多かったように思います。特に投擲種目や競歩などが多かったということです。下田高校の前や蓮台寺の通りで、競歩の練習に励む女子生徒が何人かおりましたので、好成績に繋がるといいなと思ってた矢先に新聞が出ましたので、よかったなと思います。

学校の機器など 議会議決得ず契約

・こちらは先ほどの島田市と同じです。約1億円の契約をしたということです。

下田で国内最高峰のサーフィンリーグ「Sリーグ」

・17日から20日の4日間、下田の多々戸浜海岸で開催されたサーフィンのプロリーグです。下田中の生徒も20数人お手伝いとして参加しておりましたが、生涯学習課の方もこの4日間、業務ということで携わってくださいました。かなり盛り上がりおりました。天気もなんとか持ちまして、いい波も出ていたようです。市長が波に乗りましたので、なおさら盛り上がりました。

中高生 キャリア教育に力

・下田市内の若者の流出が著しい中で、地域の魅力ある事業所を中学・高校生に知ってもらい、将来の優秀な人材獲得につなげるという取り組みです。伊豆下田法人会が力を入れているということです。中学校側としても、コミュニティースクールの一環で重要なつながりを持って、学校経営や子どもたちのキャリア教育にも一役買う形となっているようです。

鈴木さん 県優勝

・大賀茂小6年の鈴木もあさんです。ジャベリックボール投げで県で優勝いたしました。下田市のジュニア陸上クラブ「下田敷根 JC」所属です。現在怪我で静養中の渡辺洋之監督にはいい報告ができたというコメントがありました。

米ニューポートへ訪問団出発

・こちらはアメリカのニューポート市へ向けて訪問団出発という記事です。既に中村議長ら総勢7名は無事帰国しております。最終日は金曜日でしたが、深夜12時近くに到着ということで、疲れきった中で大変だったと思います。

大野コーチ 故郷の下田訪問

・パリ五輪のサーフィン日本代表のヘッドコーチの大野修聖さんが、下田中を訪問いたしました。パリ五輪の報告、それから、下田中から日本代表への応援でお渡しした国旗の返還がありました。本日も下田中に訪問した際に、玄関に大きな国旗が飾ってあったと思いますが、その国旗です。大野さんは先ほどの記事の「Sリーグ」でも初代チェアマンとして活躍という大変立派な方です。

蒸したまんじゅうに笑み

・蒸したまんじゅうに笑みということで、親子和菓子作り教室の記事です。日本文化に触れながら、親子のコミュニケーションを図ってもらおうとするもので、今回はお馴染み「ロロ黒船」の店主、山田勸さんが講師を務められました。

ワクワクする小学校に 未来の下田創造プロジェクト会議

・下田中学校統合前から子どもたちの未来を語っている欠かせない会議でありましたが、今後のより良い教育環境の整備を念頭に置きながら、幅広い分野の方々に集まっていたらいい会議です。本当にユニーク溢れる発想でいつも盛り上がりまして、今後の小学校がどうあるべきか、どんな小学校を期待するか、どんな小学校にしていきたいか、そういった議論がたくさん重ねられると思います。

重要課題「いじめ」最多 子ども・若者から意見聴取

・県の子ども・若者対象のオンライン聴取プラットフォーム「こえのもりしずおか」には、7月16日から8月30日までに1,493件、人数にして1,286人の投稿があったようです。そのうち、いじめが186票と最多でした。「こえのもりしずおか」登録者の60%が小学生、大学生以上が5%弱となっており、年3回期間を設けて意見聴取をしているようです。

生徒1人の指導記録 全保護者に誤配信

・磐田市の市立中学の教員が、生徒1人の指導記録を電子連絡網と電子メールで学校関係者526人に誤配信をしました。当該保護者のみに送ろうとしたところ、誤って全員に配信してしまったということです。私といたしましては複数人によるチェック対応が基本かと思います。

下田出身松本選手 故郷に凱旋

・旧稲生沢中出身の選手で、母校を改修した市役所河内庁舎を訪れ、松木市長と山田教育長に表敬訪問をしたということです。9月定例会でも紹介しましたが、その結果を報告に凱旋したものです。国民スポーツ大会「SAGA2024」で100メートル自由形で優勝し、ロサンゼルスオリンピックに向けて抱負を語っています。

和菓子職人の技 間近で学ぶ

・こちらは下田中2年生の美術の授業の一環です。昨年度も実施しましたが、開港170周年行事の中でどこかに展示しようと考えてもらっていますが、昨年度は同じ取組の中で、1人の作品が文科省が発行している「月刊教育史」の表紙を飾りました。これからもないような名誉なこととして、非常に嬉しいなという風に思います。

下田市 代表選手21人発表 新監督の下、浮上を狙う

・新たに県市町対抗駅伝の下田市チームに就任した高橋監督です。新しい雰囲気を作り出してくれています。あと1か月頑張ってもらいたいです。

東部大会 ソフトテニス団体 男女とも3位 県へ

・こちらは、下田高校の男女ソフトテニス部と男子バレーボール部が、県東部地区大会でいずれも3位に入りました。下田中の卒業生もこれから楽しみです。

馬場さん優勝

・全日本サーフィンガールズ部門で優勝をしたものです。宮崎市で開催された、13歳から16歳までの部門で優勝したということで、素晴らしいです。この方は、夏にアジア選手権18歳以下女子の部で2位になっています。博多から移住してきて、松木市長に表敬訪問もしております。この方は今後どんな道へ進むのでしょうか。

体育館の冷房設置2割弱

・文科省の調査です。9月1日現在、冷房設置率は普通教室99.1%ですが、体育館は18.9%にとどまっているようです。国の補助はこれまで3分の1だったのを2分の1に引き上げているということです。静岡県については、普通教室は100%、体育館は20.5%の冷房設置率です。

全国に目を向けると、体育館はまだ1%に満たない県もあって、それぞれ格差が生じております。

子どもの体力 60年前より下

・2023年度のスポーツ庁の調査結果です。1964年度と2023年度の10歳を比べると、身長と体重は男女とも2023年度の方が大きかったものの、ボール投げや男子の50メートル走は1964年度の成績の方が良かったとのこと。

磐田市職員ら3人 住民情報不正閲覧

・磐田市収納課男性職員1人と市民課の窓口業務を受託している企業の女性社員2人が、業務目的外で市職員ら5人の情報を閲覧していたということで、収納課の男性職員は懲戒戒告処分になりました。女性社員2人も既に退職しています。

2月 ウォーキング行事

・去年から引き続きの行事ですが、この記事は少し誤解を生じるといいますか、下田中がかわいそうだなという表現があったので少々説明をいたします。北方領土の日に合わせた行事が昨年度から変わりました。具体的には中学校参加の「史跡めぐりマラソン」から、小学生が参加する歴史めぐりウォーキング行事になりました。今回は市内の小学校6年生が参加予定で、変更したのは中学校の通常のカリキュラムに支障を来すという理由が書いてありますが、それだけではなく、元々4中学校の時から、練習時間やインフルエンザの流行る時期だとか、あるいは2年生が直後に修学旅行があるとか、そんなことが重なって、なかなか中学校が参加することには難色を示したという経緯がありました。昨年、下田中から、「距離やコースを変えることがもし可能ならば、1年生が参加ということで協力はできます。」という気持ちは伝えてくださったのですが、今度は下田市の方が、コースを変えたりすると計時や役員が変わって

くるということで難色を示しました。市庁舎も向こうに移ってしまうので、移動が大変だとか、お互いで噛み合うところがなかなかなくて、結局小学校の参加ということで収まったと、そんな経緯があります。ですので、この記事のように通常のカリキュラムに支障を来たすという、そういった理由だけではないということです。下田中には宇仁参事がきちんとフォローしてくださいました。

ソフトテニス大会 県高校新人大会の結果

・また、活躍しております。下田高校女子団体が県で3位です。河津の方とか下田の方が入ってます。新聞記事はそこまでです。

教育長 報告事項は以上です。質疑等ありますか。

ないようですので、以上で教育長報告事項を承認とさせていただきます。

5 議事

(1) 報第15号 専決処分の承認を求めることについて

専第15号 下田市いじめ問題対策専門委員の委嘱について

教育長 (1) 報第15号 専決処分の承認を求めることについて、専第15号 下田市いじめ問題対策専門委員の委嘱についてを議題とします。事務局の説明をお願いします。

学校教育係長 報第15号 専決処分の承認を求めることについて、専第15号 下田市いじめ問題対策専門委員の委嘱について説明いたします。

5ページをお願いします。

報第15号 専決処分の承認を求めることについては、6ページからの下田市いじめ問題対策専門委員会委員の委嘱について、専決処分の承認を求めるものでございます。

6ページをお願いします。

専第15号 下田市いじめ問題対策専門委員会委員の委嘱について説明させていただきます。

下田市いじめ防止条例第15条第4項の規定により、7ページにございます別紙の者を下田市いじめ問題対策専門委員会委員に委嘱することについて教育委員会の承認を求めるものでございます。

提案理由でございますが、下田市いじめ問題対策専門委員会委員の任期満了のためでございます。

下田市いじめ問題対策専門委員会は、いじめによる重大事態の調査、いじめの防止等のための対策の支援等を行う組織で、委員につきましては、教育、法律、医療、心理等に関する専門的な知識及び経験を有する者のうちから委嘱することとされており、別紙案のとおり4名の方を委嘱するものでございます。

任期につきましては、下田市いじめ防止条例第15条第5項により、2年と定め

られており、令和6年8月26日から令和8年8月25日までの2年間となるものです。

法律に専門的な知識及び経験を有する方については、就任をお願いしていた方の調整がつかず、現在静岡県弁護士会に改めて選任を依頼しているところであり、決定し次第、改めて委嘱をさせていただきます。

本来8月定例会で議案としてご審議いただくはずでありましたが、委員の選定に時間を要したため専決処分となりましたこと、お詫び申し上げます。

以上大変雑駁な説明でございますが、事務局からの説明を終わらせていただきます。ご承認のほどよろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの事務局の説明に対し、質問事項等ありましたらお願いします。

教育長 質疑応答等ないようですので、報第15号 専決処分の承認を求めることについて、専第15号 下田市いじめ問題対策専門委員の委嘱については原案のとおり承認となりました。

6 事務局より報告事項

教育長 事務局から協議報告事項がありましたらお願いします。

学校教育課長 車座座談会は、各地域の課題を中心に、6地区に分かれて開催いたしました。下田まちづくりミーティングとは、テーマ別と市政全般という形に分かれて、教育関係は10月12日にテーマが子育て・教育ということでありました。あとは防災関係や観光産業関係で市政全般が2回ということで、残り3回行われる予定ですが、本日は行われた部分に関して報告をさせていただきます。

まず、旧町を対象に文化会館で行われましたが、岩下区間の通学路のことについて、県道下田南伊豆線の岩下区間の草刈りが非常に大変だった。イノシシが出て子供たちが危ないというご意見をいただきました。

こちらの通学路に関しては、建設課を中心に子どもの移動経路安全推進会議にて検討していますので、そちらの方で対応していきたいと思っておりますということで回答をさせていただきました。また、イノシシについては学校側にも注意するように、ということをお伝えさせていただきました。

次の稲生沢地区ですが、縦貫道の工事で立野公園が8年程度使えなくなり、グラウンドゴルフができなくなることに関してのご意見でした。出来れば子供たちと一緒に稲生沢小のグラウンドでグラウンドゴルフができないか、というようなご要望です。こちらは教育長より学校に相談し、地域の方とうまく対応してもらおうということで了解を得ております。

朝日地区及び稲梓地区に関しては特にございませんでした。

次に白浜地区に関しては、子どもたちに対して海の教育についてどのようにしているのだろうかというようなご質問がございました。西風がなくてももうねりはありません。離岸流に関して、子どもたちにどのような指導を行っているのかということと、学校側が海へ行ってはいけないという指導をしているのではないかというご質問がありました。そちらは教育長の方より、海に行ってはいけない訳ではなく、海に行く場合は1人では行かず家族等と一緒にいくようにという指導をしておりますということで回答をしていただきました。

また、海の教育の部分もしっかりと説明させていただきました。海に関する教育は、味わう、守る、怖いという視点や山や川も含めた環境としての視点をもってしております。また、安全対策や管理の話も、今年度は海上保安庁から講師をお招きして、話を聞かせていただいたり、地域の方々にも話を伺いながら対応していますという回答をしていただきました。

浜崎地区では、高校生の通学に関して補助が出ないのかというご質問がありました。その部分に関しては、近隣市町の通学費補助の状況を整理し、下田市における通学費補助をしっかりと算出して、市長部局と協議をしていければと回答し、高校生への補助というところでは、学校教育課側で対応するのかということもあります。しっかりそのあたりも確認していきたいということで、ご意見に関しては対応させていただきました。

テーマ別の子育て・教育というところで、小学校の選択制を考えていないのかというご質問をいただきました。稲梓在住のお父さんからのご質問で、実際にお子さんが4歳で、たった1人なんですという中で、小学校に上がった時に、うちの子も1人だけになってしまう、他の小学校で一緒になれば、といったところからのご質問でした。

回答として、現段階では地域にできるだけ残す方向性で考えていることをお答えしております。学校間交流や複式学級などで対応していきたいという回答をさせていただきました。

あとは、下田中学校は統合されて非常に良かったとのご意見をいただいております。部活動やいじめの問題が解消されているとのことでした。

部活動も今までは選択肢が限られていたが色々と増え、いじめについてもずっと同じ学校だと解消されないのが、解消されているというご意見が出ました。その他、英語に力を入れてほしいとか、中学生の制服の譲り合いの場を設けてほしいといったご意見もいただきました。

生涯学習課の関係では、大人の学びの場というのがやはり重要ではないのか、というご意見がありました。現状としては、寿大学を開講していますが、葵大学が現在活動されていないという報告がありました。また、子どもたちの体験も含めて、もう少

し充実させてほしい、継続的にそういう体験、色々なことをしていった方がいいのではないのかというようなご意見がございました。

未就学児の関係では、下田の町中の臼井医院が産科を閉めてしまうということで、不安を感じていますという声がありました。経営的なところもあるので、なかなか難しい問題ですということを、市長が伝えてくださいましたが、今後、非常に大きな問題となっていくかな、というところです。

あとは、保育所やこども園の受入れに関してですが、南伊豆町では、0歳児保育料は無料、出産後は10か月まで、また、育休中も利用可能であるとのことです。下田でもそうしてもらいたいですといったご意見があったんですが、下田の公立施設では、0歳児・1歳児は定員いっぱいのため、入所要件を拡大出来ないといった状況です。南伊豆町と違い、運営が難しいというようなところでお答えさせていただきました。

また、下田保育所と認定こども園はいつ統合するのかというご質問をいただきました。令和8年度に統合したいが、0歳児・1歳児の受入れ枠を広げるためのこども園の施設改修ができていない、その問題を解消するまでなかなか受け入れられないということが1つ課題です。その課題が解消できれば、下田保育所を廃止し、下田認定こども園への一本化でサービスを充実させていくという方向性で検討しているというお答えをさせていただきました。あとは、個々の保育では何を受けられるかというところで、幼児保育や就学の支援についてかなり細かい部分でいろいろと聞いていただいたので、そこもしっかり充実させていくことは大事なかなという風には感じました。

以上です。

教育長

何かご意見とかご質問ございますか。

質疑等はないとのことで、協議報告事項については以上となります。

7 その他

学校選択制について意見交換。

高校生通学費補助について意見交換。

学校給食費改定の検討状況について学校教育係長より報告。

教育委員会 11月定例会を 11月 25日(月) 9時 30分から開催。会場は下田市立中央公民館大会議室。

8 閉会

10月定例会 10月29日(火)13時30分開会。

教育長 14時45分に閉会を宣す。

会議録署名人